

第3期（令和3年度～令和5年度）第3回日進市地域包括ケア検討会議 議事録

日 時	令和4年6月21日（火） 午後2時から午後3時25分まで
場 所	市民会館3階大会議室（Zoom 併用）
出 席 者	石田 路子（会長）、大島 亮（副会長）、中井 英貴、長谷川 清、 曾我 香織理、神野 建三、徳留 裕子、伊東 幸仁、山田 幹雄、 山田 紀子、横山 英治、齋藤 寛子、住田 敦子、村井 良則、 富岡 亜希子
欠 席 者	伴 律子、澁谷 いづみ
事 務 局	川本 賀津三（健康福祉部長）、伊東 あゆみ（健康福祉部参事）、 祖父江 直文（健康福祉部次長兼地域福祉課長）、西尾 直樹（地域 福祉課主幹）、野村 圭一（地域福祉課地域支援係長）、櫻木 順子（ 地域福祉課地域支援係主査）、島津 ありさ（地域福祉課地域支援係 主任）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について （2）第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定スケジュールについて 4 今後の予定 5 閉 会
配 布 資 料	次第 委員名簿 資料1 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について 資料2 第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定スケジュール（案） 参考資料 令和3年度 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議 資料

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
会 長	（石田会長あいさつ）
事 務 局	（資料確認）
事 務 局	（傍聴人無し）
	3 議題
会 長	会長の石田です。 皆様の活発なご発言と議事の進行のご協力をお願いいたします。

発 言 者	内 容
会 長	議題に入る前に、昨年度、副会長を務めていただいた宮川委員が大島委員に交代したため、現在副会長が不在となっております。つきましては、あらためて副会長を決定する必要がありますが、要綱第4条第4項において、副会長は会長からの指名となっておりますので、私から指名させていただきます。副会長には、実態に詳しく経験も豊富な大島委員にお願いしたいと思いますが、お引き受けいただけますでしょうか。
委 員	ただ今、副会長にご指名いただいた大島です。謹んでお引き受けいたします。よろしくお願いいたします。
会 長	ありがとうございます。よろしくお願いいたします。 それでは議題（１）「地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について」に入ります。事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料1に基づき説明)
会 長	事務局からの説明について、ご質問やご意見はありますでしょうか。
委 員	1点目ですが、資料23ページの介護支援ボランティア事業について、どのようなポイント交付で、どのような効果があがっているのか、ご説明いただきたいです。 2点目は、資料54、55ページの高齢者移動支援推進事業のモデル事業終了後の継続的な実施に関して、私が住んでいる香久山でもこのような事例が進みつつありますが、努力を継続することでこの取り組みが有効なものとなるのかまだ見えないように思っております。今後、事業を実施している各地区が実効的なサービスシステムとして定着させるために、どのようなことをやっていけばよろしいのかお聞きしたいです。
事 務 局	1点目の介護支援ボランティア事業の制度ですが、65歳以上の高齢者が主に市内の高齢福祉施設などを訪問し、簡単な作業や入居者の話し相手などのボランティア活動を行うと、1回の活動につき1～2ポイント付与され、10ポイント単位で、最大50ポイントで5千円の現金等に交換できるという事業です。令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり施設に入ることができず実績が少なかったですが、令和3年度になり受け入れ先が増えて少しずつ元に戻ってきたところではあります。どちらかというとボランティアをする側ご自身の介護予防につながる目的で、やりがいや社会参加に重きを置いた事業になっております。 2点目の高齢者移動支援推進事業は現在市内6地区で取り組んでいただいております。どこの地区でも移動支援を頼りとして買い物や日常生活の用事などに有効に使われていると伺っており、定着してきたという印象を持っております。

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>一方で、行き先や運用方法など事業をやっていく中で見直しの必要が出てきたとも聞いておりますので、市や生活支援コーディネーターが地域に伺いお話を聞きながらより良い内容にしていければと思っております。</p> <p>地域で継続できるように行っている取り組みの実例は、資料4 2～4 3 ページに掲載しています。移動支援に関する勉強会ですが、万ーのために保険の話を知りたいとの声を聞きますので保険会社に来ていただいて注意点などの話をさせていただきました。また、ボランティアドライバー養成講座という実技も踏まえた講座に実際のドライバーとなる方に参加いただき、安全運転の意識を高めていただくとともに、講座を受けていただいた方には市の車を運転していただけるとしております。金銭面については今年度までは愛知県のモデル事業として補助金がありましたが、来年度からモデル事業も終わるため、総合事業の枠組みの中で訪問型サービスBやDとして補助の仕組みを続けていけるよう考えております。</p>
委 員	<p>最後の説明部分はメニューとしていいと思います。ただ、地域でワンコインサービスの組織を作り移動支援に取り組んでおりますが、地域全体へ広がるには時間がかかるため緻密な努力が必要だと思っております。</p>
委 員	<p>1 4 ページの介護予防・生活支援サービス事業について、訪問型サービスAと通所型サービスAとCについては総合事業開始の平成2 8 年当時から実施されていますが、訪問型サービスB・C・Dと通所型サービスBは資料では検討中となっています。訪問型サービスDの移動支援については検討しているとのことですが、その他の検討中の事業は第7期や第8期のゆめプランの中に位置づけられていたのか、働きかけをしたものの事業者が見つからないのか、代替の事業が必要がなかったのか、その辺りはいかがですか。</p>
事 務 局	<p>訪問型サービスBは住民主体による支援としか記載がないですが移動支援も一部含まれており、先ほど説明しました高齢者移動支援推進事業のその先で訪問型サービスBとDについても制度設計をして補助を設けていくかたちになると思います。</p> <p>訪問型サービスCはこれまで具体的な検討はできていませんでした。栄養や口腔については個別性が高いので集合型の教室よりも家庭に訪問して事業をするのがいいのではないかと地域包括支援センターなどからも聞いておりまして、通所型サービスCとして令和元年度まで実施していた栄養と口腔の教室を、その方向にシフトしていければと考えておりますが、具体的な制度設計には至っておらず未実施です。</p> <p>通所型サービスBですが日進市内で既にこちらに該当するような団体がいくつかカフェやその他のメニューをやっており、位置づけとし</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>ては住民主体による支援になっていくのではと考えていますので、訪問型サービスBと一緒に通所型サービスBの検討もできればと思います。</p>
委 員	<p>16ページ以降に介護予防事業について記載がありますが、市民会館や中央福祉センターで実施している事業が多く、高齢者に身近な、徒歩で行けるような地域の会場で実施できれば希望者が参加しやすいのではないかと感じました。他の委員からも地域で事業を実施してもらえると参加しやすいとのご意見もいただいていたかと思います。</p> <p>やまびこ日進で今年度から出前講座を実施しており、先月の老人クラブの会合で案内したところ5～6か所から依頼や相談があり、あらためて地域開催のニーズが高いと実感しています。地域に出向いて実施する事業を増やしてもいいのではないかと感じました。</p>
事 務 局	<p>資料15ページに記載の一般介護予防事業をご覧ください。にこにこ体操教室は西地区の日進ホームで月に1回開催しており、ご近所の方が歩いて参加されている教室です。おたっしやハウスは6館の福祉会館単位で体操や健康づくりを中心に事業を行っています。つどいの場はいくつか種類がありますが、ほっとカフェのようにお茶を飲んでおしゃべりをする場所もあれば、にしん体操をした後にお話しをして帰るにしん体操スポットという場所もあります。ぷらっとホームでは多世代交流ということで、高齢者だけでなく子どもたちも来られるイベントを行っています。</p> <p>ただ、数がもっとあった方がいいというのは当然です。お金は市で補助がありますが、場所と人の発掘が必要ですので、生活支援コーディネーターの協力も得ながら進めていかなければならない事業です。</p>
委 員	<p>やまびこ日進に事業の依頼があるのは嬉しいことで、どんどんやっていきたいですが、数が増えた場合どこまで対応できるのかというのがありますので、より身近な、行政も含めた多くの事業所でそういった機会があるとありがたいと思っています。</p> <p>先月東郷町の地域ケア推進会議に出席した際、地域課題の協議という議題があり、昨年度1年間の個別地域ケア会議や多職種カンファレンスで取り上げられた事例のうち困難事例が25例ほどリストアップされていました。その多くがダブルケア問題や8050問題（9060問題）、障害者の問題、子どもや孫を含む家族の問題、貧困の問題などで、複合的なケースが非常に多くありました。</p> <p>一部の自治体でモデル的に重層的支援体制整備事業が検討されていますが、今後このような事例が増えると思います。日進市で重層的支援に向けた動きや取り組みは現状はどうか。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>重層的支援体制整備事業について、日進市では開始時期など具体的には決まっていますが、長久手市や豊田市が今年度から始めていますので、情報収集をしていきます。また、担当レベルではありますが、社会福祉協議会と検討を始めているところです。7月2日の土曜日に市民会館で開催されるわいわいフェスティバルの中で、国の制度設計に携わっておられた國信氏を招いて重層的支援体制整備事業の主に地域づくりについて60分ほど話をさせていただきます。</p> <p>このように、少しずつ相談支援機関の方や市民に知っていただく動きを始めています。</p>
委 員	<p>今のところは任意事業で、いつまでに取り組まないといけないと決まっている事業ではないということよろしいですか。</p>
事 務 局	<p>法律的には包括的な支援体制をとるよう努めるとなっており、それを実現するための手段として重層的支援体制整備事業を活用するとなっています。國信氏からは目指すべきは縦割りではない包括的支援体制であり、重層的支援体制整備事業を実施しなくても体制が実現できればそれでよく、任意の位置づけとなっていると聞いています。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他のご質問やご意見はないようですので、それでは、議題（2）「第9期にしん高齢者ゆめプラン策定スケジュールについて」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>（資料2に基づいて説明）</p>
会 長	<p>事務局からの説明について、アンケート調査に加えて欲しい項目の要望なども含めて、ご質問やご意見はありますか。</p>
	<p>（挙手なし）</p>
会 長	<p>せっかくですので、先ほどの議題も含めて委員の皆様にご意見やご感想をいただければと思います。</p>
委 員	<p>東山区では移動支援を行っていますがそれ以外で何かできないかということで、社会福祉協議会の方から移動商店を紹介いただきました。高齢者に最初の一步を踏み出してもらうのはなかなか難しいですが、自然に足が向くようなものを、自治会と一緒に何かできないか考えております。</p>
委 員	<p>移動スーパーは南ヶ丘では既にさくらが入っています。導入当初はあまりウェルカムな感じではなかったですが、3カ月程経ち、時間に合わせてそこに集まる人たちのコミュニケーションが始まって、今はいい感じに進んでいます。店の人が安否確認等もしてくれます。</p> <p>移動支援もいい調子で進んでいます。たくさんの方が希望されたと回数はどうなるかと心配しています。</p> <p>先日住民座談会でいろいろなご意見をいただきました。足が弱くな</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>って歩けない、一人暮らしでブレーカーが落ちてどうしよう、などと話している方がいて、日常の小さな困りごとへの支援の仕組み、お互いあまり負担にならずに気軽にいられるにはどうしたらいいのかが悩みです。色々な機会を通じて住民どうしのコミュニケーションをはかることが大事なのかと思いました。公民館を中心とした行事に参加してもらえるようなことを考えていけたらと思います。</p> <p>近くで健康問題の知識や技術を教えてもらえるところがあればというご意見が挙がっていました。南ヶ丘では健康に関して講座を開催しておりますが、最近では「今さらだ」とか、「楽しくその日が過ごせたらいいの」という言葉が聞こえてくるので、楽しめる講座づくりが大事だなと思っています。</p> <p>市ややまびこ日進の支援をいただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
委 員	<p>見識を高めてこの会議にしっかり参加できるようになりたいと思っております。今後ともよろしくをお願いします。</p>
委 員	<p>事務局から説明がありました健口健食げんき教室は、名古屋学芸大学の管理栄養学部の協力のもと割と元気な方を対象実施されているもので、20名以上の方が参加されて充実している事業だと思います。</p> <p>それ以外にも、事務局が訪問型サービスも検討していく必要があると言われていましたが、その通りだと思います。広い範囲をカバーできるように進めていってもらえればと思います。</p>
委 員	<p>薬剤師会では地域ケア会議へのますますの参加をさせていただきたいと思っています。やまびこ日進の出前講座にも積極的に参加して住民との関わりをもっていきたいです。</p> <p>質問ですが、くるりんバスの双方向運転ができるのかよく聞かれるのですが、予定はありますか。</p>
事 務 局	<p>くるりんバスは今年度、担当の移動政策室で路線の見直しを進めています。双方向についても議論がされるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>令和4年度から社会福祉協議会では重層的支援体制整備事業を特命とする職員を2名配置しまして、市と協力しながら体制をつくっていきけるよう努力していこうと思っております。</p> <p>第9期ゆめプランの策定スケジュールについてですが、委託契約のプロポーザルはどういった観点で業者を決める予定でしょうか。</p>
事 務 局	<p>選定はプロポーザル形式で決めますが、高齢者福祉計画の策定実績やアンケート集計の提案などで業者の能力を評価し、評価委員会で選定を行いたいと思っております。</p>
委 員	<p>生活支援コーディネーターとして最近では地域ケア会議に呼んでもらえる機会が増えました。そこで例えば、病気で運転が難しくなった人</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>に対して移動スーパーのマッチングをしました。そのねらいは個人の買い物支援ではなく、移動スーパーに近所の人が集まることで地域の人と話す機会を設けて孤立の防止を図ることです。運転免許を返納した人が近所のスーパーに通い続けられるかというテーマの際には、地域全体の体操教室を開催するなど、個人でできる健康づくりと地域の皆さんで取り組む健康づくりとを計画しています。地域包括支援センターが担う地域づくりの部分を補うためにつくられた生活支援コーディネーターとして、連携できており非常に心強く感じています。</p> <p>今後はADLが落ちて趣味の活動ができない高齢者に、逆に子どもたちの工作の講師になってもらうような、支援されるだけでなくご自身が地域に貢献できるような機会を夏休みに作っていきたいと思っています。要支援、要介護になってもお互いに活躍できるような地域づくりを目指していきたいです。</p>
委 員	<p>地域に出ていくことがないので、どこでどう絡んでいこうか気になっています。86歳の母親は現在は元気で畑にも出掛けていますが、いずれは要支援・要介護の状態になっていく中で、色々あるメニューを彼女はどうしていくのかと疑問を抱きながら参加させていただいております。</p>
委 員	<p>生活に根差した課題を、地域の工夫で解決していく取り組みが今後に進んでいくといいと聞いていました。方向性としては、地域課題が挙がってくるとき、高齢者だけでなく障害のある方や生活困窮の方、子育て世代の家庭の問題など色々なことが見えてくるので、包括的・重層的支援体制整備事業をどう目指していくかになってくると聞いていました。</p> <p>現在行っていることが地域力強化に根差していると思いましたが、今後の共生社会のためには幅広いネットワークシステムが地域で重要だと思っています。様々な地域の連携ネットワークの共通基盤となるものに権利擁護があります。認知症の方や障害のある方、生活困窮の方など、すべて人として尊重されながら生きる権利があり、そのことを踏まえながらシステムを進めていただきたいと思います。ゆめプラン策定にあたっては課題や評価の部分で高齢者だけでなく、網羅的に体制整備を進めていけたらと思います。</p>
委 員	<p>現在、中部地域包括支援センターでも地域ケア会議を月1回開催しており、大きな課題だけでなく小さな困りごとたくさん出てきています。それに対して生活支援コーディネーターと連携したり、他の事業所や薬剤師などとの顔の見える関係性も作ることができています。今後も地域ケア会議を通じて、課題の抽出はもちろんですが、多職種との連携も行っていけたらと思っています。</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>地域の人と接点が少ない人が増えている印象があり、介護保険サービスを結びつけることが多くなってしまいます。そうなると地域との接点がさらに薄れてしまいますので、地域ケア会議などを通して地域の人とのつながりをもちながら、利用者が住み慣れた地域で生活できるよう、地域と利用者の橋渡しを支援していきたいです。</p>
委 員	<p>私どもも、地域に出向いて相談体制がとれるように今後も取り組んでいきたいと考えております。一般介護予防事業として日進ホームでここにこ体操教室を開催しており、地域の人が歩いて集まって運動できる場所として有意義なものになっていると感じています。施設で開催しているため新型コロナウイルスの関係などでどうしても限界もあるので、地域のぷらっとホームなどで積極的な展開ができるといいのではとの話が出ていますが、今年度も開催は続けていこうかと考えております。</p> <p>介護認定を受ける人が増えてきており、地域ケア会議を開催するなど地域包括支援センターの役割が増えてきている現状もあります。第9期のゆめプランの策定に関して、地域包括支援センター業務の現状など、現場の動きも参考にして策定していただけると助かります。地域にも介護施設など多くあるので、そういった所とあわせて、総合的な形で作っていけるといいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。以上で全員のご意見いただけたと思いますので、議題につきましては以上とさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。</p> <p>特に事務局から連絡事項などはございませんので、以上をもちまして第3回日進市地域包括ケア検討会議を閉会いたします。皆様ご協力ありがとうございました。</p>
	5 閉会